

Harmony

仙台市立錦ヶ丘中学校 第2学年通信

No.9 令和2年7月20日(月)

命の大切さ

～前田先生をお招きして～



7月17日(金)の午後の授業で、産婦人科医師の前田 勇先生から「命の大切さ いじめについて」のご講話をいただきました。医師の立場から、また人生の先輩としての貴重なお話しをうかがい、「みんなは少なくとも10万～20万分の1の確率で生まれてきた大事な人。周りの人たちや社会から愛情を持って守られ育ってきた大切な命であること。これを継承し、知識が進歩し、社会が進歩していくこと」などを教えていただきました。また、「これと真逆な問題に『いじめ』があり、いじめは恥ずかしいこと、無知なことである、みんなで仲良く助け合って生きていってほしい」とお話しされました。思春期にありがちな問題にも触れ、命の大切さを忘れずに行動していくことを説かれました。その温かな言葉に、子ども達も皆真剣に集中して話を聞いてました。今後もいろいろな方の講話を聞く機会がありますので、多くのことを学び吸収してほしいと思います。

「命の大切さ」の講演を聴いて

僕たちの命は10万～20万分の1の確率で生まれてきて、家族・学校・社会に愛されて生きているから1人1人の命は大切であり、生きていく同世代の大切な仲間の1人なので、仲良く接することが大切だと改めて学びました。

これから思春期前半なので、恋愛の話もありました。人と付き合う中で、性感染症があること、異性で考え方が違うから相手の気持ちとリスクを考えることが大切だなと思いました。

命の大切さを知り、自分たちの命は何万分の1のとても貴重な命だとわかり、いじめなどで人の命が亡くなったりしないよう、言葉遣いに気をつけようと思いました。また、人と人との関係を大切にしようと思いました。自分を産んでくれた親や、今まで自分を支えてくれた人たちに、もっともっと感謝の気持ちを持つようにしたい。また、自分たちが今いるのは、昔戦争の100万人以上の人たちの犠牲があり、自分たちが今生きていることを知って、その人達の分も「生きる」事を大

事にして、そして今日それを教えてくれた前田先生に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今回の講演を通して、人との関係について学べたと思いました。命の大切さも学びました。私は改めて自分の両親に感謝し、いじめのない生活や環境にしていけないといけないと思いました。この話をしてくださって本当にありがたく思います。

これからは、日本人の心の温かさを胸に、人に対して思いやりの心を持っていきたいです。また、真逆にいじめの問題があるということなので、ひとりぼっちでいる子に声をかけ、いじめのない環境をみんなで作り上げていきたいです。人としての価値を学びました。前田さん、ありがとうございました。

進路希望調査へのご協力 ありがとうございました

ご家庭で、進路についてお子様と話をする機会にいただき、三者面談でも有意義な情報交換ができますようお願いいたします。